

ことばは力

—第一回言語力研修会で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
(2)先週の9月8日(土)と9月9日(日)に「第1回若鮎(わかあゆ)カップ」というドッジボール大会があり、私も参加させていただきました。場所は太田市の黒羽地区体育館で、栃木県ドッジボール協会、開倫ユネスコ協会、地元のゆづかみ地区と黒羽地区のまちづくりの皆さんと一緒にやらせていただきました。
(3)県内のほか、福島県、群馬県、埼玉県、茨城県から小学生 21 チームが参加し、2日間かけて予選・本選を行い、ドッジボールの技を競いました。本当に素晴らしい大会でした。津久井市長や市議会議員の先生方もたくさん来ていただき、地元の方も応援して下さいました。また、来年も開催したいということでした。鮎を食べながら皆さんで応援をしたりプレーをしたりして、充実した2日間を過ごさせていただきました。
2. 今日御紹介したいのは、その前日の9月6日と7日に足利市で行われた「言語力研修会」についてです。特に、7日には「ことばは力、言語力教育の充実で学力の向上を図ろう」というとても充実した研修会がありましたので、その内容を御紹介させていただきます。
3. 主催団体は、公益財団法人 文字・活字文化推進機構で、足利市教育委員会、栃木県教育委員会、開倫研究所が後援させていただき、素晴らしい内容の勉強会を開催させていただきました。その中で特に印象的だったのが、教育界では非常に有名な先生であります梶田叡一先生の講演です。梶田先生は中央教育審議会の副会長をなさって、今の教育課程の新学習指導要領を策定なさった先生でいらっしゃいます。今日は、梶田先生の講演のお話を御紹介させていただきます。
4. 梶田先生のお話によると、確かな学力を育てるためには「ことばの力」が一番必要だということです。改めて言うまでもなく、「ことばの力」というのはあらゆる学習の基礎となるものです。どのような教科や領域であっても学習はことばを媒介して行われますし、教科書や教材も言語表現を中心としたものです。先生が説明したり、指示したり、励ましたりするのこともことばを用いてです。さらに言えば、考えるということ自体が、また、認識すること自体が自己の感性を通じて得たもの、他者によってことば化されたものを自分なりに検討して新たに言語化をし直して、そして自分自身の内的な概念体系を自分の中に組み込んでいくことだというようなお考えです。

5. 「ことばの力」は、日常的には話す・聞く・読む・書くという 4 つの活動の形をとってあらわれます。ただ、話すことや聞くことが一番大事だというお考えがありますが、梶田先生は読むことも大事だというお考えです。私も同じ考えです。読むことにはじっくり読むという「熟読」と、たくさん読むという「多読」があると思います。江戸時代には、寺子屋の基本テキストになった「論語」などの古典があり、繰り返し繰り返し熟読用のテキストとして読まれたと思いますが、現在の小学校や中学校ではこれに匹敵するような古典は扱われていません。ですから、教科書の編集に関わっている人や、現場で自主的な教材を作ろうと努力している方には、子どもが繰り返し繰り返し熟読をする対象になるような新しい古典を見つけてもらったり、新しい古典をぜひ書いてもらいたいと思います。昔の「論語」のように、何回も何回も、何十年も何百年も読み続けるのに値するような内容のものを現代風な形にして、教科書に作ってもらえれば一番有難いと思います。このようにしてテキストをじっくりと選び、繰り返し繰り返し熟読に耐えるテキストを読むことによって、読む力を形作ってもらいたいと思います。

6. また、「熟読」と同様に大切なのが、「多読」だと思います。広く本を読んでさまざまな情報や考え、表現に触れることは、「ことばの力」を付けていく上で本当に大事な意味を持ちます。そのために学校の図書館や公共の図書館に親しみむことは大事ですので、ぜひ学校の図書館や県立図書館、市立図書館、町の図書館を大事にしていきたいと思います。また、古本屋さんを含め本屋さんを大事にしてください、ぜひよい本をたくさん読んでもらいたいと思います。

7. 最近私が本屋さんに行って驚いたことは、ちょっと言いにくい話ですが、これが本屋さんかと思うほどあまりにもお遊びのものなどが多いことです。昔の本屋さんのようにぜひ本も揃えていただきたい、そして、古本屋さんも充実していただきたいと思います。

8. 「多読」する子どもは読書好き、本好きです。そのような子どもを育てる上で大事なことは、本好きの大人が身近にいるかどうかです。ですから、先生もそうですが、放送をお聴きの皆様も子どもたちの前で本を好きになっていただいて、本のすばらしさをぜひお伝えしていただければと思います。

9. 「ことばの力」を伝えるために大事なことの 1 つは、読むことです。読むことの中で大事なのは、「熟読(じっくり読む)」と「多読(たくさん読む)」だということを、先日足利市で開催されました言語力研修会「ことばは力」で勉強しましたので、御紹介させていただきました。

「ことばは力」です。皆様もぜひ「ことばの力」をつけていただければと思います。

— 2013 年 2 月 23 日追記・改訂 林明夫 —